

平成 28 年度第 3 回山武市地域公共交通活性化協議会 議事概要

開催日時	平成 29 年 3 月 24 日 (金) 13:30~14:30
開催場所	山武市役所 新館 3 階 第 5 会議室
出席状況	<p>(敬称略、順不同)</p> <p>委員 鶴澤 尚夫 (千葉交通(株) 取締役社長)</p> <p>” 笹尾 充宏 (ちばフラワーバス(株) 代表取締役)</p> <p>” 石田 浩造 ((有)松尾タクシー 代表取締役)</p> <p>” 金杉 幸太郎 (房総自動車(有) 代表取締役)</p> <p>” 川島 正博 (両総観光(株) 代表取締役)</p> <p>” 花崎 幸一 ((一社)千葉県バス協会 専務理事)</p> <p>[代理 上田 純成 (業務係長)]</p> <p>” 土屋 信乃夫 ((一社)千葉県タクシー協会 理事)</p> <p>” 平野 秀明 (千葉県県土整備部山武土木事務所 所長) 【欠席】</p> <p>” 小川 美智子 (蓮沼地域民生委員児童委員協議会)</p> <p>” 飯岡 きい (松尾地域民生委員児童委員協議会)</p> <p>” 井上 満 (山武地域民生委員児童委員協議会)</p> <p>” 三好 留美子 (成東地域民生委員児童委員協議会)</p> <p>” 中村 光秀 (国土交通省関東運輸局千葉運輸) 【欠席】</p> <p>” 岡崎 晃士 (千葉県総合企画部交通計画課 副主幹)</p> <p>[代理 辻内 裕樹 (交通計画課主事)]</p> <p>” 叶谷 昌男 (千葉県山武警察署 署長) 【欠席】</p> <p>” 成毛 孝行 (東日本旅客鉄道株式会社 成東駅 駅長)</p> <p>[代理 松本 昭一 (助役)]</p> <p>” 轟 朝幸 (日本大学理工学部交通システム工学科 教授) 【欠席】</p> <p>” 中村 けい子 (山武市商工会女性部 部長) 【欠席】</p> <p>” 岩澤 弘 (成田国際空港株式会社地域共生部長)</p> <p>[代理 三邊 卓 (地域共生部共生企画グループマネージャー)]</p> <p>” 高橋 一嘉 (山武市 副市長) 【欠席】</p> <p>” 石橋 和記 (山武市 総務部長)</p> <p>事務局 山武市総務部企画政策課</p>
議事等	<p>報告事項 1 平成 28 年度事業実施及び予算執行状況について</p> <p>報告事項 2 平成 28 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>報告事項 3 乗合タクシー予約センターの外部委託について</p> <p>議事 1 平成 29 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について</p> <p>議事 2 その他</p>
会議概要	<p>○報告事項</p> <p>(1) 平成28年度事業実施状況及び予算執行状況について</p> <p>～主な内容～</p> <p>【平成29年3月24日現在の事業実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格運行実施 (4月1日～3月31日) ・協議会の開催 (6月26日、10月26日、3月17日) ・運転免許自主返納者への優遇措置制度の開始 (6月1日～) ・基幹バス停留所増設 (10月3日～「本水深」バス停留所増設) ・山武市健康福祉まつりへの出店 (10月16日 (日) にモビリティ・マネジメントの一環として出店。バスの乗り方教室、乗合タクシー登録受付等を実施)

【平成28年度本格運行の実施状況について（平成28年4月から平成29年2月までの11ヶ月間）】

・基幹バスの利用者数について、平成27年度同期と比較すると平成27年度38,409人に対し、平成28年度39,568人となり1,159人増加している。コース別では「蓮沼→山武」が98人の増加、「山武→蓮沼」が1,061人の増加となっている。基幹バスの利用者数の増加については、平成27年4月1日から実施している路線延伸の定着や、平成28年4月1日からの蓮沼・松尾地区での路線変更により新規利用者が増加したことが理由の一因と考えられる。

・乗合タクシーの利用者数については、平成27年度44,395人に対し平成28年度42,242人となり2,153人減少している。地域別にみると、成東地域、山武地域での利用者が大きく減少している。乗合タクシーの利用者数の減少については、安全運行の観点や高齢者の乗降時間を考慮し、運行計画に余裕を持たせているため、運行管理システムに予約が入りにくい状況となっていることが減少の一因と考えられる。

・収支率について、基幹バスは平成28年度31.02%、平成27年度同期29.98%で1.04%増加し、乗合タクシーは平成28年度22.60%、平成27年度同期23.26%で0.66%減少した。収支率の増減理由として、基幹バスは路線変更による新規利用者の増加、乗合タクシーについては、利用者数の減少によるものと考えられる。

【平成29年3月24日現在の歳入歳出決算見込】

・歳入合計57,418,943円（山武市補助金57,396,775円、諸収入22,168円）
歳出合計57,418,943円（会議費209,117円、事務費53,514円、事業費57,156,312円）、
次年度繰越予定額0円

・国庫補助金、基幹バス6,028,000円、乗合タクシー8,189,000円
（平成24年度から事業者が国へ直接申請）

～主な意見・質問等～

特になし

(2) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

～主な内容～

・地域公共交通確保維持改善事業での平成28年度（平成27年10月から平成28年9月までの1年間）の運行に対する山武市地域公共交通活性化協議会の事業評価結果については、基幹バス、乗合タクシー合計の1か月あたりの利用者数が8,000人以上という利用者目標について、平成28年度中の月平均利用者数が基幹バス3,473人、乗合タクシー3,877人、合計7,350人であり目標は達成できていない状況となっている。また、公共交通に関する満足度の目標については、目標50%のところ、40.5%の実績であり、目標を9.5%下回ったが、前回評価時の40.3%からは0.2%であるが微増となっている。

・協議会の事業評価に対して地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における二次評価結果を報告。事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されており評価できる。目標効果達成状況については、利用者数および目標を下回っていることから、継続的に利用状況の把握を行い実績データ等に基づいた調査・分析を実施し、必要に応じて計画や目標の見直しを検討や効果的な利用促進策を実施するなど、持続可能な地域公共交通の確立に向けて引き続き取り組むことを期待する。なお、平成28年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員から、以下の5項目が助言として挙げられている。

①目標設定は、過去実績に基づくものではなく、需要予測等による将来の計画に基づくものとして設定することが重要。

②目標達成の有無だけでなく、どうしてその結果に至ったのかを分析することが

- 重要。また、分析結果をオープンにしていくことも重要。
- ③目標を高く設定しPDCAサイクルを効果的に回すことが重要。
- ④利用実績に応じて、継続的に運行計画を見直していくことが重要。
- ⑤利用者のターゲットを明確にし、ターゲットに見合った改善を行うことが重要。

～主な意見・質問等～
特になし

(3) 乗合タクシー予約センターの外部委託について

～主な内容～

第2回山武市地域公共交通活性化協議会（平成28年10月31日開催）において承認をいただいた乗合タクシー予約センターの外部委託について、分科会を開催し乗合タクシーの運行事業者と協議を行った結果、乗合タクシー運行事業者へ委託することで協議が整ったため、その移行スケジュールについて報告を行った。

・移行スケジュール案

内容	平成29年												平成30年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
予約センター外部委託	外部委託化に向けた準備・調整期間									H29.10～予約センター外部化					

～主な意見・質問等～
特になし

○議事

(1) 平成29年度事業計画（案）及び予算（案）について

資料に基づき、平成29年度の事業計画案及び予算案について事務局から説明を行った。

～主な内容～

【事業計画案】

- ・基幹バス、乗合タクシーの運行改善の実施
- ・モビリティ・マネジメントの実施
- ・協議会の開催（3回程度）
- ・山武市地域公共交通網形成計画の策定協議

【予算案】

- ・平成29年度予算については、歳入歳出合計それぞれ68,805千円とする。

～主な意見・質問等～

土屋委員

事業計画について、地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会からの二次評価結果を反映させてはどうでしょうか。

事務局

事業計画に反映するようにいたします。

石橋会長代理

その他に、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

石橋会長代理

特にご意見等無いようですので、事務局からご提案いただいた平成29年度事業計画（案）及び予算（案）に関しましては、事業計画について、地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会からの二次評価結果を反映させ、予算については

<p>委員全員</p>	<p>原案のとおりで承認させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>その他特に意見・質問等は無く、(1)平成29年度事業計画(案)及び予算(案)については、事業計画に地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会からの二次評価結果を反映させることを加え、原案のとおり承認された。</p> <p>(2)その他 ～主な内容～ 特に議事とする事項なし</p>
<p>石橋会長代理</p>	<p>議事(2)その他について、特に議事がないようですので、以上で予定されていた議事はすべて終了いたしました。長時間にわたりご協力いただきありがとうございました。それでは引き続き事務局より進行をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次第5のその他としまして、事務局より1点、前回の協議会で報告させていただいた地方創生推進交付金を活用した山武市から成田方面へのアクセス強化などを含めた調査業務の進捗状況について報告いたします。</p> <p>～主な内容～</p> <p>今年度(平成28年度)より山武市から成田方面へのアクセス強化などを含めた調査業務を実施しており、成田方面への市民ニーズやルート、また最終的に成田方面への路線を運行する場合の課題などについて、調査の進捗報告を行った。</p> <p>(調査の目的)</p> <p>山武市では、地方創生に向けて、既に大きな雇用の場となっている成田国際空港及び関連企業への就業の流れを強化し、地域住民の方々の空港周辺での就労増加による定住促進を図ることを目指している。</p> <p>この取組を推進していくため、成田方面への更なるアクセス改善を視野に、ニーズ把握やバス運行を行う際に候補として考えられるルート、課題などを整理することを目的として、調査を実施。</p> <p>(アンケート調査の結果)</p> <p>○成田方面へ行く頻度</p> <p>成田方面へ行く頻度は、「年に数回」の38.4%が最も高く、次いで「ほとんど行かない」の24.2%となっている。</p> <p>地域別でも、同様に「年に数回」程度となっているが、蓮沼、松尾地区は「月に数回」など、成東、山武地区と比較して、成田方面との結びつきが強いように見受けられる。</p> <p>○成田方面へ行く目的</p> <p>成田方面へ行く目的は、「買物」の40.5%が最も高く、次いで「私用・レジャー」の26.2%となっている。</p> <p>地域別でも同様となっているが、山武地域は、「通院」の割合が他の地域に比べて高くなっている。</p> <p>○成田方面の目的地</p> <p>成田方面への目的地は、「商業施設(イオンモール等)」の51.1%が最も高く、次いで具体的な行き先としては「成田国際空港」の15.4%となっている。</p> <p>地域別でも同様となっている。</p>

○新規バスの利用意向

成田方面への新規バス路線の利用については、「ほとんど利用しないと思う」の71.2%が最も高く、次いで「通院・買い物等で、利用したいと思う」の19.4%となっている。

地域別では、すでに空港シャトルバスが運行されている松尾・蓮沼地域において新規ルートへのニーズが低く、山武、成東地域は「通院・買い物等で利用したいと思う」など、利用したい割合が高くなっている。

(バス運行を行う際に候補として考えられるルート)

成田方面への利用ニーズは、成東地区、山武地区が多くなっており、利用者ニーズの多い地域を経由するルート設定をした場合、以下のルート案が考えられる。

案1 成東駅→成東駅入口交差点→津辺交差点→日向台入口交差点→
椎崎交差点→白玉交差点→埴谷交差点→麻生新田交差点→
山室交差点→成田方面へ

案2 成東駅→成東駅入口交差点→富田交差点→睦岡郵便局交差点→
麻生新田交差点→山室交差点→成田方面へ

(課題)

①運行に係る経費

バス運行経費、乗車料金の検討など

②市民ニーズに合った目的地の設定

成田方面の目的地として要望の高い「商業施設(イオンモール等)」、「成田国際空港」、交通結節点である「成田駅周辺」に乗り入れることができるのか。

③既存バスとの連携

城西国際大学が運行する通学バスが山武市内を経由し、京成成田駅までへ運行している。前回の協議会において轟副会長からアドバイスがあったとおり、人口減少社会の中でシェアエコノミーという考えがあり、限られた資源を有効に活用していくというのが時代の流れになっていることから、城西国際大学の通学用バスとの連携が図れるかどうかも検討課題となる。

例) 既存の通学バスと市民ニーズに合った新規路線を組み合わせ、学生と市民の両者にとって利用しやすい運行形態を構築する等。

～主な意見・質問等～

特になし

事務局

その他の報告に対しご意見・質問等ないようですので、最後に事務局より今後の予定についてご説明申し上げます。

平成29年度の第1回目の協議会は、6月の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

石橋会長代理

それでは、以上で平成28年度第3回山武市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。本日はお忙しいところ長時間にわたりご協力をいただきありがとうございました。
以上

